

第3学年4組 美術科学習指導案

日 時 平成28年1月17日(火) 第5校時
在籍数 男子19名 女子15名 計34名
指導者 教諭 赤地 桜

1 題材名 「天までとどけ」 ～祈りを込める日本の節句～

2 題材について

(1) 生徒の実態

(2) 本題材を指導するに当たって

本題材は、日本の文化である「五節句」の一つである「端午の節句」の「こいのぼり」をあげる風習・文化に着目した表現と鑑賞の学習である。現在、価値観の多様化や生活環境の変化によって日本古来の伝統や風習が失われつつあることに危惧している。節句・節日に飾られてきた人形やこいのぼり等は、先人たちがそれらに込めた祈りや願い、伝え続けてきた精神性と美意識が結び付いた日本人として未来に繋げていくべき美術文化の一つである。「こいのぼり」は、現代においては「男児の成長を祝う行事」として扱われているが、元来“鯉”は「生命や命の勢い」の象徴であり、実際にはない“鯉の滝登り”の言い伝えには「たくましく生きることへの祈り」も込められており、“こいのぼりをあげる風習”は男女を問わず「生きることへの祈り」や「生命の美しさへの讃歌」を込めた文化であった。本題材では、このような日本文化の根底に受け継がれてきた独自の美意識や創造的精神、生活に求めた願いや心の豊かさなどについて理解を深めることで、美術文化の継承と創造への関心を高めていきたい。

導入では、映像資料や先人達の思いにかかわるキーワードを示すとともに、実物の「こいのぼり」と触れ合う鑑賞活動を設定し、生徒達がそれぞれの感性を働かせて受け継がれてきた美意識や創造的精神を感じ取れるようにする。そこで感じ取ったことを基に、現在の自分自身の思いや願いに目を向け主題を創出し「自分らしいこいのぼり」を制作することにつなげていく。制作にあたっては、吹き流しのように布を半分に折って端を留めた筒状のものに染料(風絵具)を使用し、個々の主題にそって自分の思いや願いを形や色彩に表していく。染料は布の着色に適している一方、細かい表現は難しい。それらの描材の特徴を指導した上で、既習も想起させながら、主題の表し方を構想させていく。題材の終末には、制作した「自分らしいこいのぼり」を空に泳がせる展示を行い、祈りや願いを込める日本の美意識や創造的精神について喜びや感動をもって振り返ることができるようにしていく。また、鑑賞や制作などの様々な活動の中で、互いに感じたことや考えたことをそれぞれの価値意識をもって批評し合うなどする活動を組み込み、言語活動を用いて互いの学習を深め合えるように指導していく。

美術は表現と鑑賞の幅広い活動をとおして感性を働かせて心を育てることができる教科である。本校生徒の“豊かな個性”や“素直さ”、“溢れる内的なパワー”を、様々な形で発揮できるようにしながら自己肯定感や意欲を高め、学校教育目標の具現化につなげていきたい。

3 学習指導要領上の位置付け

- A表現（1）ア 対象を深く見つめ感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出すこと。
 イ 主題などを基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練ること。
- A表現（3）ア 材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。
 イ 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現すること。
- B鑑賞（1）ウ 日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑賞したりして、日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違と共通性に気付き、それぞれのよさや美しさなどを味わい、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めること。
- [共通事項] ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。
 イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。

4 目標及び評価規準

(1) 目標

「こいのぼり」の鑑賞活動と表現活動を通じて、受け継がれてきた日本独自の美意識や創造的精神に対する理解を深め、日本の美術文化への関心を高める。

(2) 評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
表関① 自らの主題を「こいのぼり」に込めて表現することに関心をもち、心豊かな表現の構想を練ったり、主体的に形や色彩などを工夫して表現しようとしたりしている。 鑑関② 「こいのぼり」から、日本の美意識や創造的精神を感じ取り、美術の働きや日本の美術文化に関心をもち、主体的な見方や理解を深めようとしている。	発① 感性を働かせて対象を深く見つめ、感じ取ったことや考えたこと、自分なりの「祈り」「願い」から主題を生み出している。 発② 主題を基に想像力を働かせてイメージを膨らませ、形や色彩の効果を生かして単純化や省略など創造的な構成を工夫して心豊かな表現の構想を練っている。	創① 主題を基に、表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、形や色彩の効果を総合的に考えるなどして、創造的に表現している。	鑑① 感性や想像力を働かせて「こいのぼり」に込められた日本の美意識や創造的精神の価値を感じ取ったり、自他の作品から作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取ったりして、日本の美術文化への理解や関心を深めている。

5 指導計画・評価計画（7時間扱い）

時間	学 習 活 動	【評価方法】
1 公開	感性や想像力を働かせて「こいのぼり」に込められた日本の美意識や創造的精神を感じ取り、自分なりの考えをもつ。	鑑①【記述・行動観察・発言】
2	対象から感じ取ったことや考えを基に自分なりの「祈り」や「願い」から主題を生み出してイメージを膨らませ、創造的な構成を工夫して心豊かな表現の構想を練る。	発①【記述・対話・ 発② 発言・表現】
3 ・ 4	主題を基に、表したいイメージにむかって自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、形や色彩の効果を総合的に考えたりするなどして、創造的に表現する。	創①【表現・記述】
5	自他の作品を鑑賞し、込められた思いと工夫の関わり等について感じ取ったことを伝え合い、表現をよりよくするための方法を構想する。	発②【記述・対話・ 発言・表現】 鑑①【記述・発言・ 対話】
6 非 公 開	感じ取ったことや気づき考えたこと、友人からの言葉などを活かして、さらに工夫を加えて表現する。	創①【表現】
7	自他の作品を鑑賞してよさや美しさを感じ取り、日本の美意識や創造的精神などの美術文化への理解や関心を深める。	鑑①【行動観察・対話・記述】

◎関心意欲態度については題材の全過程を通して評価するものとする。

6 学習指導について

(1) 授業実施日（公開） 平成28年11月2日（水）第5校時 （1／7時間）

ア目 標

感性や想像力を働かせて「こいのぼり」に込められた日本の美意識や創造的精神の価値を感じ取り、日本の美術文化への理解や関心を深める。・・・鑑

イ準 備

- 教師：こいのぼり（大1点、各班1点×9班分）、スライド、ワークシート、クリップボード、ホワイトボード、マジック、
- 生徒：筆記用具、制服、

ウ展 開

◆：C判断生徒への手立て

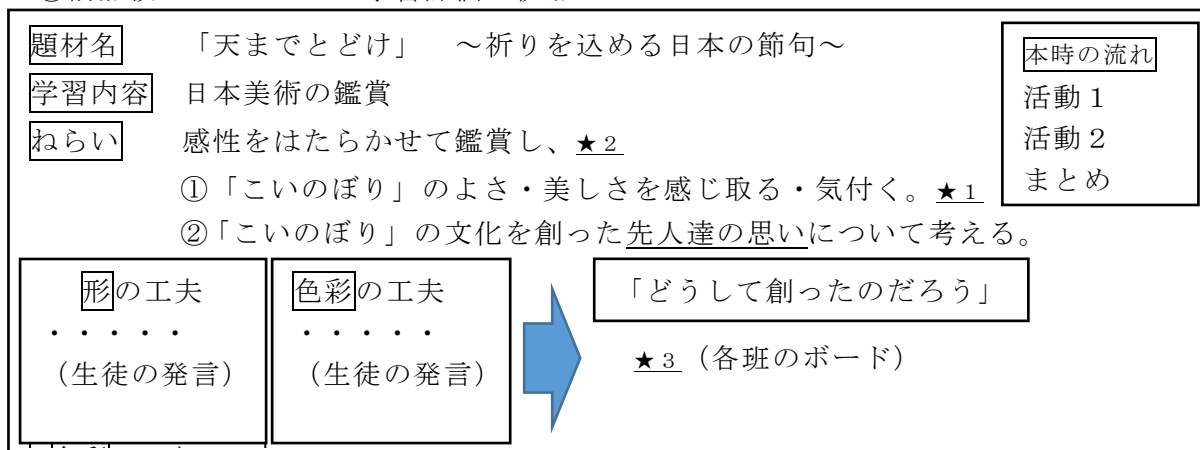
時間	学 習 活 動	指導上の留意点 〔共通事項〕に係る内容)	評価と手立て 観点：評価規準 【評価方法】
導 入 10 分	1 本時のねらいと内容を知る。 どうしてこいのぼりを創ったのだろう？ 「わあ、すごい」「大きいなあ」 「泳いでいるみたいだ」 「そんな由来があったのか」	・ICTや実物を用いて、こいのぼりに対する生徒の関心を引き出す。 ・キーワードをもとに、こいのぼりに込められた「祈り」や「願い」などに着目させる。	鑑①感性や想像力を「こいのぼり」に込められた日本の美意識や創造的精神の価値を感じ取り、

展 開 25 分	2 活動1 : こいのぼりの実物を感性や想像力を働かせて鑑賞し、よさや美しさ、造形的な工夫を感じ取る。 「こんな風になっているんだ」 「きれいだなあ」 「こんな色が使われているよ」	<ul style="list-style-type: none"> 互いの見方や感じ方が深まるように、鑑賞の視点を明示する。 実物を、触ったり動かしたりすることで、より感動的にそのよさや美しさを感じ取らせる。 	日本の美術文化への理解や関心を深めている。 【記述・行動観察・発言】 ◆発言や対話を通じて、なかなか思考の深まらない生徒の考えを引き出し一緒に深めていく ◆机間指導によって、いち早く鑑賞を深められない生徒に気づき、課題を把握して個に応じた解決にあたる。
	3 活動2 : 込められた「祈り」や「願い」、日本の美意識や創造的精神について班ごとに話し合い、考えを深める。 「この色はこんな意味があるのだと思う」 「私はこう思って創ったのだと思う」 「大きさ（色彩）にはこんな意味があると思う」	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの視点を明示し、<u>込められた願いや祈りと、形や色彩の工夫のつながり</u>について気付かせる。また、自分の生活や身の回りの人達の存在を重ね合わせて考えさせる。 班ごとに話し合わせて一つの意見に絞ることで、互いの考えを深め合わせる。 (話し合いボードで発表) 	
整 理 15 分	4 本時のまとめを通じて、自分の主題を探す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">感じ取ったことを基に自分の思いや願いを振り返り、自分のテーマを考えよう。</div> 「こんなよさがあったよ」 「私達の班はこう思いました」 「私はこれを表現しよう」	<ul style="list-style-type: none"> こいのぼりの鑑賞をとおして感じ取ったことや考えたことを伝え合い、それを自分の主題を生み出す手掛かりにさせていく。 (ワークシートに記述して発表) 	
	⑤本時の学習評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な視点を明示して振り返らせ、自分の学びについて実感をもたせる。 (板書計画★) 	

エ板書計画

①前黒板

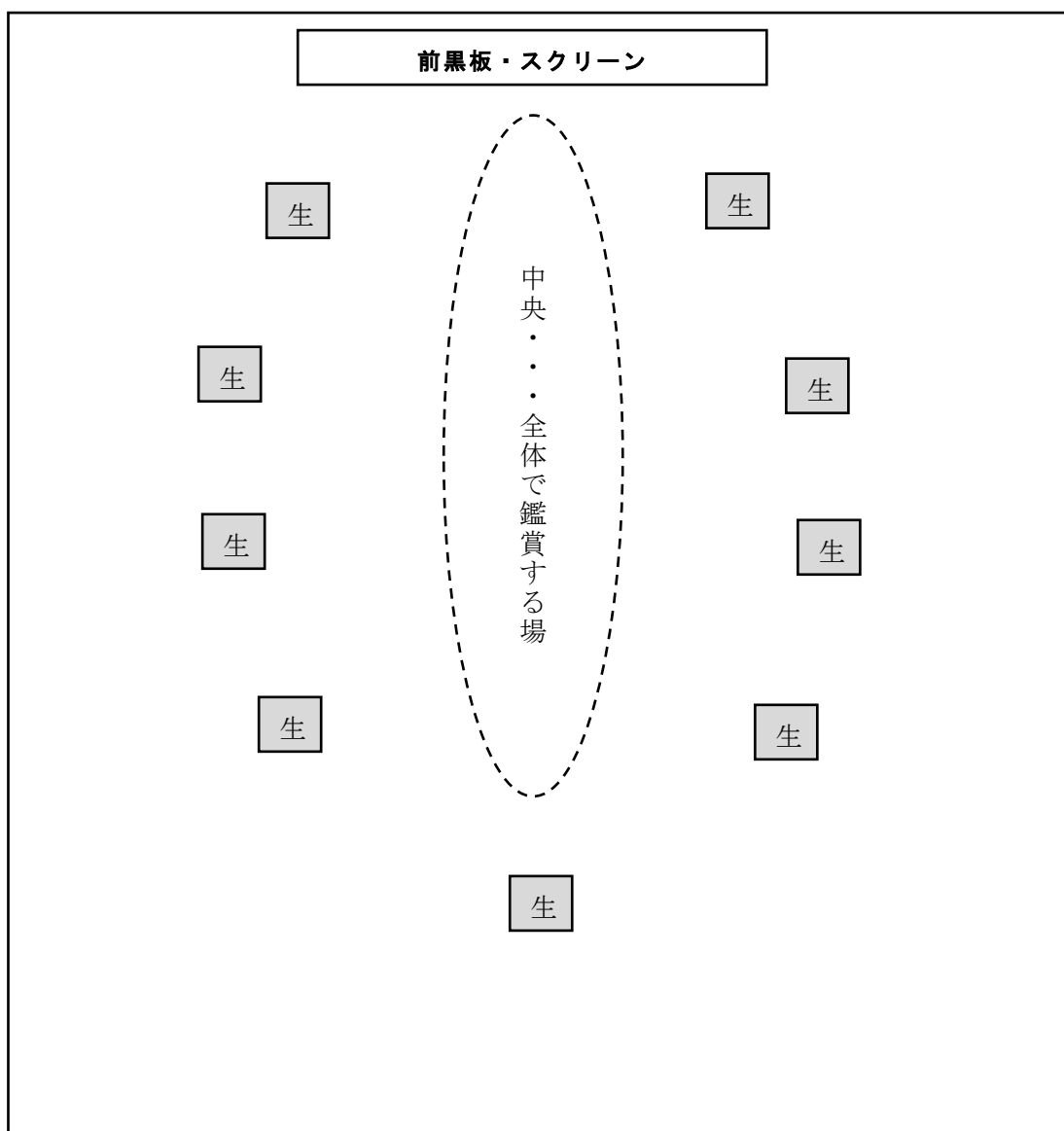
★…学習評価の視点



- ②スクリーン
- ②スクリーン

オ教室環境図（体育館）

生徒席（4人班×7つ、3人班×2つ）



(2) 授業実施日（非公開） 平成29年1月17日（火）第5校時（6／7校時）

ア 目 標

感じ取ったことや気づき考えたこと、友人からの言葉などを活かして、表したいイメージに向けて形や色彩の効果を総合的に考えるなどして、創造的に表現する。・・・**創**

イ 準 備

- 教師：スライド、ワークシート、作品、絵の具（珪染料、アクリル絵の具）
- 生徒：制作ノート、筆記用具、体操服、

ウ 展 開

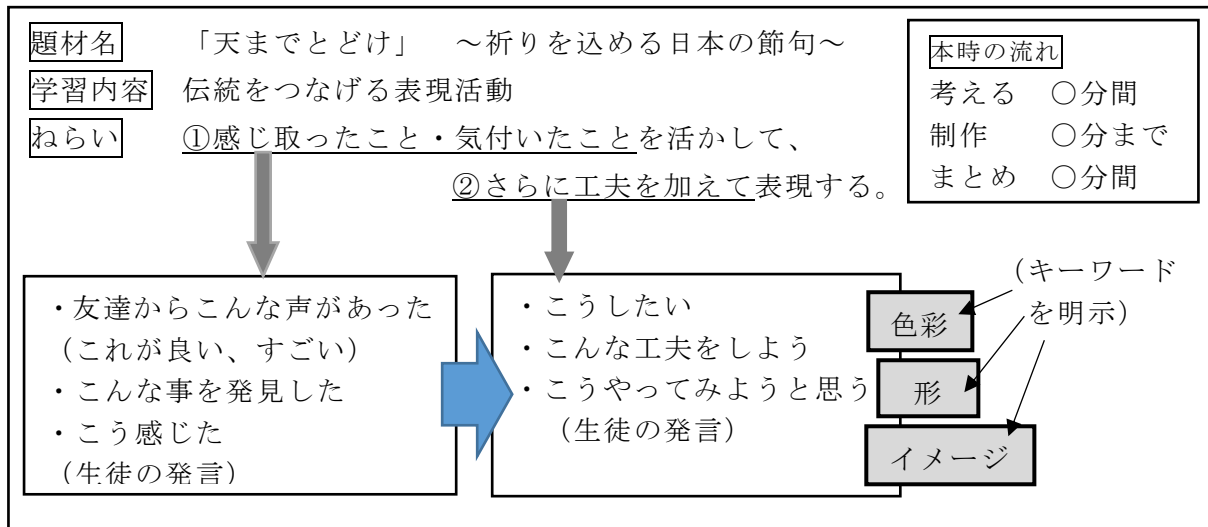
◆ : C判断生徒への手立て

時間	学 習 活 動 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> …教師の提案 「 」…予想される生徒の姿 </div>	指導上の留意点 [共通事項]に係る内容)	評価と手立て 観点: 評価規準 【評価方法】
導 入 7 分	1 本時のねらいと内容を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> あなたは今日どんな表現をしますか？ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「どうしようか迷っている」 ・「前回こんな事に気付いたからこうしたい」 ・「こうする事が自分の仕上げ制作だと思う」 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の鑑賞をもとに考えを深めさせ、本時の制作テーマを考えさせる。 ・ICTを用いて前回の途中鑑賞を全体に提示し、個々が本時の学習内容や主題に着目できるようにする。 ・生徒一人一人がこいのぼりに込めた「祈り」や「願い」と色彩や形との関わりを、さらに深く考えさせる。 	創①主題を基に、表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、形や色彩の効果を総合的に考えるなどして、創造的に表現している。
展 開 40 分	2 活動：自分の表したいイメージや考えに向かって、形や色彩の効果を総合的に考え、創造的に表現する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> さあ、その考えに向けて色彩・形を工夫して表現しよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・表現したいイメージに向けて個々が絵の具を選ぶ。 ・すぐに制作し始める生徒とじっくり悩み考える生徒がいる。 ・「よし、やってみよう」 ・「こうしたら良くなった」 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が自分の主題を掴んだ上で制作し始められるように、参考にできるような具体例を取り上げる。 ・個々の制作時間の確保とスムーズな制作となる 	◆ 発言や対話を通じて、なかなか思考の深まらない生徒の考えを引き出し一緒に深めていく ◆ 机間指導によって、いち早く制作を進められない生徒に気づき、課題を把握して個に応じた解決にあたる。
整 理 3 分	4 本時の制作を振り返り、学びの確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> どんな工夫(表現)が出来た？ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「私はこんな表現をした」 ・「こんな事が学べたと思う」 ・「こう変化したよ」 ・「成功したよ」(達成感の声) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な視点を明示して振り返らせ、自分の制作と学びについて実感や達成感をもたせる。(板書計画★) 	

エ 板書計画

①前黒板

★…学習評価の視点



②スクリーン ※生徒作品を映す

オ 教室環境図 (美術室)

生徒席 (2人×17)

